

## 付録 A

### 第 20 回オリンピック冬季競技大会 (2006 / トリノ)

#### 選手、コーチ、トレーナー、役員及び資格認定を受けたその他すべての参加者に関する IOC インターネットガイドライン<sup>1</sup>

選手、コーチ、トレーナー、役員及び NOC の責任において資格認定を受けたその他すべての参加者が、不注意からオリンピック憲章に定められた資格認定条項に違反することを防ぐため、IOC はインターネットに関連するオリンピック憲章条項について、以下のガイダンスを NOC に提供する。

##### 競技大会期間中の商業活動：

規則 45 の付属細則 3 は、「IOC 理事会が許可した場合以外は、オリンピック競技大会に参加する選手、コーチ、トレーナー、役員は、オリンピック競技大会期間中、その身体、名前、写真もしくは競技の内容が宣伝の目的で使用されることを許してはならない。」と定めている。

##### a) 商業目的の映像の使用

選手がオリンピック競技大会期間中に商業的なインターネット・サイト制作者と独占的な契約を結ぶためには、選手の所属 NOC および国際オリンピック委員会 (IOC) の許可を得なければならない。

##### b) 記念品オークション

IOC は、記念品を寄付したいと希望する選手に対し、スイスのローザンヌにあるオリンピック・ミュージアムへの寄贈を推奨する。IOC は、オリンピック競技大会期間中、オリンピック選手が個人の所有物や記念品などを商業的なオークションに出品されることを許諾しないよう要請する。

##### 競技大会からのレポート：

規則 59、付属細則 5 は、「いかなる事情があっても、オリンピック競技大会の開催期間中は、いかなる選手、コーチ、役員、プレスアタッシェもしくはいかなる他の資格を受けた参加者もジャーナリストとしての認定を受けたり、活動したり、もしくはなんらかの他のメディアの資格において活動してはならない」と定めている。

付属細則の内容は、選手が資格認定を受けたジャーナリストによるインタビューを受けることを禁じるものではなく、選手自身がジャーナリストとして活動することを禁じるものである。以下の説明を参照のこと。

##### a) 選手のオフィシャル・ウェブサイト

選手がオリンピック競技大会に向けたウェブサイトを作ることは認められない。選手が恒久的なウェブサイトを持っている場合には、広告または商業的な協定のいずれもが NOC

<sup>1</sup> これらのガイドラインは、第 20 回オリンピック冬季競技大会 (2006 / トリノ) にのみ、適用される。IOC は、事前通告なく現行のガイドラインを変更する権利を留保する。これらのガイドラインは、英語版を主とする。

の規則に違反していないことを条件に、そのサイトを維持することができる。コンテンツについては、選手は個人的な見解やコメントを掲載することはできるが、その選手に関係のない問題に関するレポートを掲載することはできない。選手のサイトには、資格認定を受けたジャーナリストが撮影した写真を掲載することができる。

b) 私物のスチル及びビデオカメラ

カメラ（カメラ機能付の携帯電話を含む）は、私用のみに使うことができる。選手、コーチ、トレーナー、役員及びその他の資格認定を受けた参加者がオリンピック競技会場又はオリンピック村で撮影した映像は、IOCによる承諾書を事前に得ていない限り、いかなる時でもウェブサイトへの掲載を含め、公共的あるいは放送目的に使用することは認められない。

c) 携帯電話とオーディオ機器

選手、コーチ、トレーナー、役員及びその他の資格認定を受けた参加者は、TV、ラジオまたはインターネットで放送するために自分の声を、資格認定施設内で録音したり、このような施設から送信したりする目的でオーディオ機器（レコーダー、携帯電話など）を使用することは認められない。

d) オンライン・ダイアリー

選手、コーチ、トレーナー、役員及びその他の資格認定を受けた参加者は、実際の競技大会期間中、日誌やオンライン・ダイアリーをウェブサイトに掲載することはできない。なぜならこれは、オリンピック憲章で禁じられている、競技大会からのレポートと同様のものと考えられるからである。選手、コーチ、トレーナー、役員及びその他の資格認定を受けた参加者はもちろん、いかなる場所においても、その場限りの回答という形で、ジャーナリストやウェブ編集者、あるいは一般人の質問に答えることができる。選手、コーチ、トレーナー、役員及びその他の資格認定を受けた参加者は、いかなるメディア（TV、新聞又はインターネット）のためにも、他の選手にインタビューすることはできない。

e) チャット

選手、コーチ、トレーナー、役員及びその他の資格認定を受けた参加者は、オンライン「チャット」セッションに参加することができる。なぜなら、これによって報酬を得ない限り、チャットはインタビューを受けること（相手が一人のジャーナリストではなく、一般人ということ）と同様と考えられるからである。

f) チップ/テレメトリー

選手、コーチ、トレーナー、役員及びその他の資格認定を受けた参加者は、生理的なデータ又はその他の情報を第三者に送るチップ又はその他の電子機器を、自ら身に付け、あるいは第三者に取り付けることを許諾してはならない。

## 違反

これらのガイドラインに違反した場合には、資格認定が取り消されることがある。IOCは、これらのガイドラインへの違反に対し、金銭的な損害に対する訴訟及び他の制裁を含むその他の措置を講じる権利を留保する。